

■ 雨のお話し ■



今年は冬の終わりにドカッと雪が降り、雪解けにどのように影響するか心配されました。しかし、結果的に今シーズンの雪解けは、思っていたよりも遅くはならず、場所によっては、例年より早いところもあったようです。その後は、太陽の勢いが勝り、まとまった雨が降らないまま、ひと月以上が過ぎていきました。

さて、すると自然界には、問題が生じます。山の水の量は、比較的一定の量を常に維持しています。多すぎると適度に流れ出て、少なくなると出ていく量も少なくなります。少なくなる前に、また雨が降ると比較的一定の水を保持できているはずですが、しかし、今シーズンはどうでしょう？ドカッと降った雪の後は、まとまった雨もなく葉っぱや花の生長に多くの水を使う季節に入りました。



異変に気が付いたのは GW の明けごろでしょうか？スミシなどの小さな草花やレンゲツツジなどの木々の花々も「花が咲いているのに元気がない。」という様子。観光客の方からも、「お花今が見ごろだね!!」でも、なんか花の色がいつもと違う感じがしたよ？枯れている花もあったよ。」というお話があり、おそらく、水の影響ではと考えました。来訪される時は、晴れていて歩きやすい天候が一番良いと誰もが考えます。しかし、少し視点を変えてみると、雨の時の散策も楽しいものかもしれません。「この雨で、きっと色々な生き物が元気をもらおうだろうなあ。」なんて考えてみてください。

自然の風景には、当然、「元気な自然」が必要で、元気な自然の中でも太陽とお水は特に欠かせません。やっぱり、バランスの取れた気象が一番ですね。



■ こんなの見なかった？ ■

裏磐梯でよく見かける不思議なもの…さて、なんでしょう？

太い木々が立ち並ぶような森の中を歩いていると、樹の幹に長さ 10cm 太さ 2cm くらいの茶色い奇妙なものがへばりついていることがあります。足元の落ち葉の上や木道などにも見ることがあります。細長く褐色で湿り気があって柔らかそうですが、触ってみると意外に弾力があります。

さて、これは一体何でしょう？

- ①きのこの仲間
- ②虫の仲間
- ③動物のフン
- ④ヤマナメクジ
- ⑤自然の中で遊ぶための道具

正解は④。「ヤマナメクジ」という大きなナメクジです。「ナメクジ」というと、ジメジメする庭などにおいて、塩をかけると縮んでしまう小さいものを思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。



森で出会う「ヤマナメクジ」は、はるかに大きく、20cm 以上の大物もいて、少しの塩では縮みそうにありません。彼らは木肌の苔や落ち葉などを食べ、森を耕しています。ゆっくりゆっくり移動し、見つかったのを悟ると触角を引っ込めほとんど動かないのですが、そーっと観察していると、やがてまた動き出します。

木肌や落ち葉の景色に紛れてしまう”かくれんぼ上手”ですが、立派なヤマナメクジを探してみませんか？